

青い田から

令和4年2月号(第88号)

デイサービス青い宙便り 令和4年2月1日発行 発行者 (株)ベイシス デイサービス青い宙 発行責任者 石田 京子 http://www.aoisora-ds.jp



『袖ひじて むすびし水の こぼれるを 春立つ今日の 風やとくらむ』 紀貫之/作

「袖を濡らしながら両手ですくっていた水が冬に凍っていたものを、立春の今日の風が 吹きとかしているのだろうか」と言う意味だそうです。

2022年は、2月4日が「立春」です。少しづつ日脚が伸びて、春の訪れを待ちわびる頃 となりましたが、まだまだ寒い日が続いています。 体調など崩されませんよう、お気を付けください。



あおいそら健康教室

あったかいカイロで気が付いたら水ぶくれ

寒くなるにつれ、こたつや使い捨てカイロで暖をとる機会が増えてきました。 ここで注意したいのが、暖房器具による「低温やけど」です。高温でのやけどと 違いじわじわとダメージを受けるため、気付かないうちに重症化することも。

▶「低温やけど」って、どんなやけど?

比較的低い温度(約40~50℃)で生じるものを「低温やけど」と言います。 多くは、電気ストーブやこたつ、使い捨てカイロ、湯たんぽ、電気毛布など、冬場に長時間、体に当てて使用 するものが原因となって発症します。これらの製品の温度が、50℃位に達している場合は、約3~4分の接触で 発症することもある為、注意が必要です。自覚症状が現れにくいのが特徴です。

●「低温やけど」の症状は?

赤みや痛み、水ぶくれなどが現れます。その後、2週間ほどかけて血流の悪化とともに細胞の壊死が進み、 皮膚が黒くなっていきます。また、感染症を引き起こしたり、皮膚のひきつれなどの後遺症が残ったりする こともあります。

●「低温やけど」の治療

やけどの範囲が狭ければ軟膏塗布などの保存的治療が、範囲が広ければ皮膚の移植が主に行われます。 保存的治療であっても、数か月かかったり、重症の場合、手術などの専門的な治療を要したりします。 そうならない為に、原因となる製品の正しい使用方法を知り、体の特定の部位が長時間触れないように するなどして、発症を予防することが大切です。



●皮膚がこんな風になっていたら、「低温やけど」応急処置を! 痛みや赤みがある早期であれば、流水で冷やしましょう。だいたい10~30分位かけて、水道水などの流水を直接 幹部に掛けます。その際、水ぶくれがあれば、なるべく破らないようにしましょう。







【思い叶え隊】出動!!

日々の生活の活性化と目標に合わせた屋外活動の取り組み

お一人お一人のご希望をお伺いすると共に、ケアプランに沿った機能訓練の一助とさせていただいております。

S・O様の思い「新しい靴を買いに行きたい。」







今回の思い叶え隊のテーマは、「新しい靴を買いに行きたい。」です。 出かける前から「希望する靴があるだろうか。とにかく軽い靴を買いたい。」と 楽しみにされ、お店に到着すると、ぐるっと見て回られ気になった数点を試し履き されました。店員さんにサイズや軽さなど相談され、お気に入りを購入されました。 外出することで、社会参加や気分転換が出来、生活の活性化に繋がったと思い ます。(^_-)-☆

2月のイベント

・お誕生会 2月8日(火)



デイサービス青い宙 概要

サービス提供時間	8:30 ~ 16:40 / 9:30~15:45
休 業 日	日曜・年末年始(12月30日~1月3日)
電話番号	086-277-4447



青い宙ってどんな所? 私に合うかしら? 職員はどんな人たち?

1日見学、大歓迎♪ お食事&コーヒー・おやつ付 500円